

# 避難のタイミングを確認しよう

「マイ・タイムライン」とは、風水害の発生に備えて一人ひとりが家族構成や生活環境に合わせ、あらかじめ作成する避難行動計画表のことです。大規模な風水害を想定し、自身や家族のとるべき行動について時間の経過ごとに整理することによって、災害時に慌てず安全に避難行動をとる助けになります。

## ❖ 避難の判断

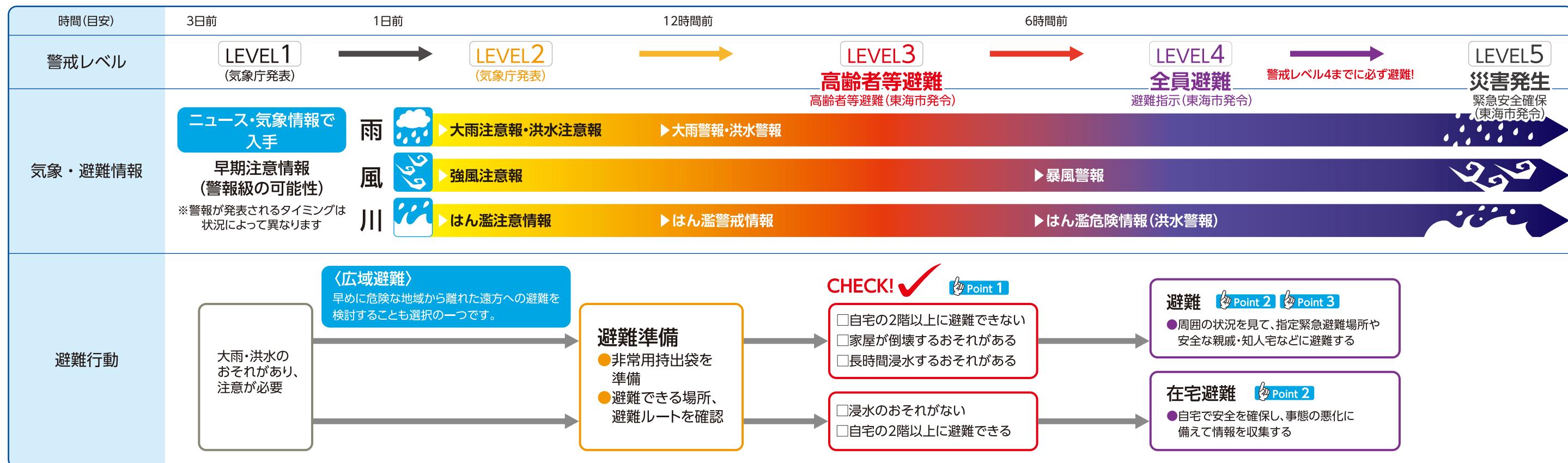
- 〈ステップ1〉 ハザードマップを用いて、自分の住んでいる地域の水害リスクを調べましょう。
- 〈ステップ2〉 どのような避難行動が必要なのか、どのタイミングで避難するとよいのかを考え家族と一緒に時間の経過ごとに整理しましょう。

## 避難先を確認しよう

### ・あなたが避難する場所は?

- |   |              |            |
|---|--------------|------------|
| <input type="checkbox"/> ハザードマップ(風水害編)に記載されている避難所 | (移動手段: [ ] ) | 移動時間:約 分)] |
| <input type="checkbox"/> 親戚・知人の家                  | (移動手段: [ ] ) | 移動時間:約 分)] |
| <input type="checkbox"/> その他(近くの浸水しない場所)          | (移動手段: [ ] ) | 移動時間:約 分)] |

※ 避難方法については、P.24を参照。



## Point 1 浸水深の目安



3m以上(2階浸水)

0.5m~3m未満(1階床上浸水)

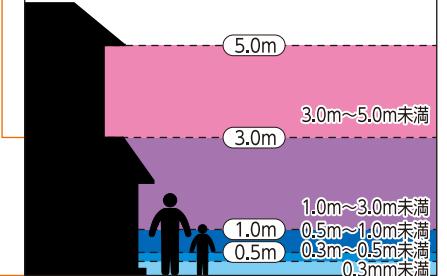
- 非常用食料や水、貴重品などを2階以上に移動させる。
- この深さまで浸水する前に、近くの頑丈な建物に避難する。

0.5m未満(床下浸水)

- 大人のひざまで浸水し、徒歩での避難は困難。
- 車のエンジンが停止する。
- 建物の2階以上に避難を!



洪水浸水深別色分け



## Point 2 早めの「水平避難」緊急時の「垂直避難」

下記の2つの避難は、どちらも命を守るために避難行動として位置づけられています。災害時の自身の状況に応じて適切な行動がとれるよう、避難情報・避難行動を確認しておきましょう。(P.7)



## Point 3 避難する時は

- 避難するときは動きやすい服装で、2人以上の集団で避難しましょう。
- 長靴は中に水が入ると危険です。脱げにくい靴を履きましょう。

- 冠水している道は避けて避難しましょう。
- やむを得ず冠水している道を通る場合は、長い棒などで地面を探りながら避難しましょう。

- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。
- やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況などを十分に確認しましょう。

